

●東京都議会議員 **現職** 2期目／自由を守る会

上田令子

うえだ
れいこ

都議会
NEWS
2021
夏号



～ズルいことは、ゆるさない。常時改革実現中！～

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18 tel&fax 03-3878-9032 ✉uedareiko@gmail.com

上田令子

検索



●うえだれいこプロフィール●

台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大文科学卒。外資系生保等数社を経て起業も。2007～12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選、17年2期連続再選。現在公営企業委員会所属。『自由を守る会』代表。

上田令子の議会質問について

議員の有する質問権をフル活用した結果、都民益に叶う課題解決に結びつきました。都職員も真摯に対応したことの説明責任も踏まえ、ご報告します。

【2017年以降に上田が行った質問内訳】

本会議	委員会	文書質問	合計
112	1,585	759	2,456

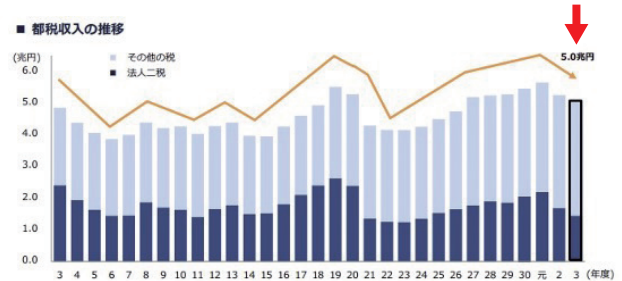
2013年都議就任以来質問総数
都議会史上過去最多

合計 **3,202** 問です

●最悪の事態を想定しなかった小池都政

小池百合子知事は初当選直後の平成29(2017)年度予算編成において、予算額を圧縮する「ワイズスペンディング」を実行していました。しかしながら、2017年の都議会改選後は「過去最高予算額」を毎年更新し、石原都政で効率化した都政組織に反するように、次々と新たな部局・本部を設置。こんなご時世に都営住宅事業をテコ入れするかのような「住宅政策本部」新設とは、時代に逆行しています。

また、新型コロナウイルス問題が深刻化する直前に令和2(2020)年度予算案が発表されましたが、「自由を守る会」は巨額の財政需要の前に早急に借金を返すこと、不要不急に思える420新規事業における総額842億円は、小池知事の2期目当選に向けたアピールになっていないかなど、既存事務事業の確実な遂行をすべきと指摘。当時は「景気がいいのに水を差すな」という空気の中、苦言を呈していたところ、案の定、コロナ禍の経済損失により**税収は約4,000億円もの激減**に至りました。



▲【東京都の税収推移】令和2年度から減収傾向に転ずる(都財政資料より)

この最悪の事態を想定せず、オリパラ景気を当て込んで相も変わらず都債(都の借金)を2,084億円も発行し、過去最大の「あふれんばかりの贅肉を付けた」15兆4,522億円予算のツケを回されるのは、知事の判断が後手に回ったことにより感染症の脅威にさらされ、日々の生活に大きな制約を受ける都民であるからこそ、警鐘を鳴らしたのです。残念ながら、上田の懸念は、現実のものとなりました。

小池都政 独断専行 & 無策に

もの申す!

●貯金を使い果たしたら、支出を抑えるのは当然

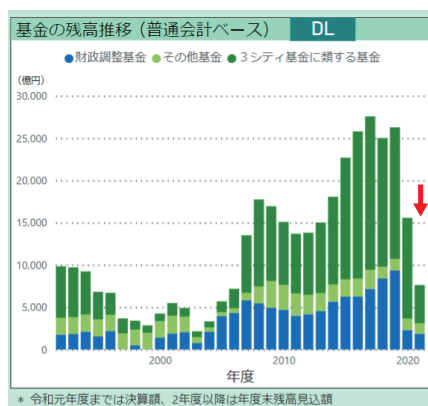
コロナ禍にあえぎながらも日々つつましく暮らす都民をよそに、小池知事が約3,500万円もの巨額退職金を受領していたこと、令和2年度の知事CM等広告費に12億円が支出されていたことを上田独自調査により明らかにし、大きな波紋を呼びました。都民感情を逆なでする税金の使い方であったことは論を待ちません。

そもそも都の税収は、景気変動により極めて不安定な形で増減を繰り返す法人二税の影響を受け、過去15年で最も低かったのはリーマンショック時の平成21(2009)年度の4.3兆円。最も高かったのは、令和元(2019)年度の5.5兆円と最大約1.2兆円もの税収の差が発生します。歴代都知事の都政運営は、経済重視・ハード重点と、生活重視・ソフト重点で振れてきており、美濃部都政の財政赤字を鈴木都政で建て直し、バブル崩壊後は石原都政で挽回して黒字に。対して、小池知事独断専行の予算専決処分は令和2年度から実に11件に及び、今年度に入り行った専決処分4件の補正予算額は1兆円を超えます。これまで堅実に積み上げてきた財政調整基金 **(都の貯金) 約1兆円の9割方を小池都政では使い果たし**、直近補正後財政調整基金残高見込みは**21億円に激減**しました。

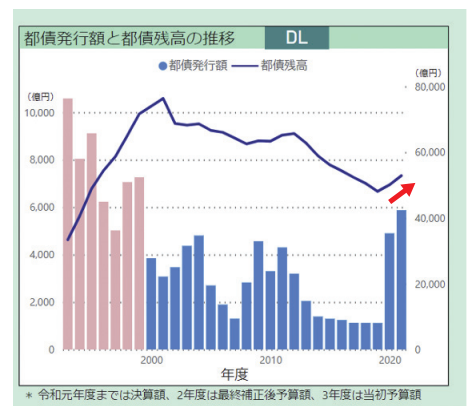
一方、都債残高(都の借金)は令和2年度から

4,700億も急増。今後も増え続けていくことでしょう。

コロナ後の景気後退による税収の激減を想像すれば、背筋が寒くなるのは私だけではないはず。こうした都債の乱発依存は、それだけでなく不平等な将来の世代へさらなる負担を負わせることとなりますから、絶対に回避すべきです。



▲【東京都の貯金推移】令和2年度から激減(都財政資料より)



▲【東京都の借金推移】令和2年度から都債残高が急増(都財政資料より)

●住民中心の都政へ

コロナ禍という「国難」は、残念なことに、これからの都財政をも情け容赦なく直撃することでしょう。

政府・国会の混迷が続く中、小池知事も都議会各会派も国政政局にばかり気を取られ、地域課題は置き去りのままです。しかし、もはや、それが許されない厳しい地方行政・政治の時代に入りました。

上田令子は、常に独自調査と分析によるエビデンスに基づき、東京都の行政運営の瑕疵を指摘し、改革・改善を進めてまいりました。今後とも、地域最優先・生活重視の個々の都民の生活の向上と幸いの実現を心から願い、都民生活を守るためピンチをチャンスに変える「税金の無駄遣い、理不尽、不正・癒着・天下り、ズルイことをゆるさない!」改革を進めてまいります。

機動力をもった議会活動で 速やかに成果を出しました。



新型コロナウイルス感染症対策

先手先手の独自提言で新型コロナウイルス 感染症対策をいち早く政策実現!

●都立病院マスク不足を指摘、即時拡充へ

「マスクはひとり1日1枚」ルールが課されているとの情報が寄せられ、改善を要求。感染拡大防止のための備品体制見直しへと導く。

●尊厳あるコロナ禍のみとりを

23区内では、9カ所の火葬場のうち4カ所で一日最大7人の火葬体制であったことから、コロナ関連死専門のご遺体の安置場所の必要性に気づき、感染防止策を万全にしつつもご家族の思いに寄り添う「東京ルール」策定へ。

●保育園登園自粛対応にいち早く気づく

オール東京の保護者から寄せられた要望を受けて、緊急事態宣言下における認可・認証保育所で登園自粛の保育料負担無償化、認可外保育所の登園自粛に2分の1都負担予算措置を求め、各自治体での実現に。

●都立病院コロナ対策医療者の待遇改善へ

医療従事者がコロナ感染症患者の治療、看護業務にあたった際の1日あたりの手当てがわずか720円であることを指摘、3,000円への増額の条例改正を実現。

●大手チェーン店も時間短縮営業協力金支給対象へ

昨年の協力金事業開始から除外され続けていた大手飲食チェーン事業者とともに小池都知事に訴え、世論を動かし今年1月、無事支給対象とすることが実現しました。



教育改革&子ども・子育て支援

許すな! わいせつ&体罰教員! 定点観測で 東京都教育委員会・文科省を動かす

教員による児童・生徒への暴言、体罰、わいせつ事案の個別相談を議会活動に取り上げ速やかな懲戒処分に結び付けてきましたが、東京都教育委員会でも教育職員免許状失効者の官報登載漏れが発覚しいち早く指摘。本年わいせつ教員を再び教壇に立たせない対策新法が成立したことからもこれまで以上に教育委員会における徹底を監視していきます。

ベビーシッター事業者問題点を 早期から指摘、是正・処分へ

小池知事が鳴り物入りで始めた女性ベンチャー成長促進事業1期生に都ベビーシッター利用支援事業経営者が名を連ねたことから、健全性を質し続けていました。あろうことか同社男性シッター2名による強制わいせつ罪事件が発生。政府からは是正勧告、都からは改善指導がなされ、約款の認定取消手順設置に導きましたが、上田が初めに指摘した時点で都が動いていれば、被害児童は出なかったと思うとじくじたる思いです。現在、同社の都認定取り消しを求めています。



地域密着型環境・防災の都市づくり

葛西臨海水族園本館ドーム“解体ありき”を覆す

ホテルオークラの父子2代の設計者谷口吉生氏による葛西臨海水族園が突如、解体ありきで計画が進められていることが判明。ハーバード大等から知事へ存続を求める異例の要望書、日本建築家協会からは提案が出され、現時点「既存施設の利活用を検討する」という前向きな姿勢を都が示すに至り、関係者一同と存続へ向け働きかけを続けています。



撮影：北嶋俊治

▲美しいランドスケープは都民の“記憶財産”

東部低地帯江戸川区の水害対策を推進

江戸川区平井地区地域住民が心待ちにしている、工事継続中の小松川第二ポンプ所の進捗状況を公営企業委員会にて常時確認をし、早期完成に向け尽力しています。

世界中を襲ったコロナ禍の直前、令和2年度予算につき「有事に備え無駄を省くべし」と苦言を呈したことを皮切りに、5,000にわたる都政事業はもちろんのこと、コロナ対策においても機を見るに敏で都民の命と健康、財産、税金、人権、自由を守る数々の施策を実現しましたので、紹介いたします。



行財政改革

小池百合子知事が知事退職金 約3,500万円を受領したことを明らかに

小池知事は、2期目都知事選挙の公約に「都知事給与の50%カットの継続（全国最低給与）」を掲げながら、退職金34,944,000円（税控除前／条例上の満額!）を当選後「情報公開」もせず首尾よく受領。上田指摘によって今後の知事退職金制度の在り方の問題提起がなされています。

後手後手のコロナ対策の埋め合わせ! 小池都政広告費総額約12億円を公表し是正へ

1回目の緊急事態宣言以降、異常なまでに小池知事がテレビCMに登場していることへ都民、首都圏県民から問い合わせがありました。今年3月、タレントのカニング竹山氏が、上田調査結果に基づき小池知事の巨額広告費をテレビ番組で批判したところ、あろうことか竹山氏の所属事務所および放送局のTBSへ都が注意文を出していたことが明らかになり、全国的な「社会問題」へ。己の失策を印象操作でごまかすような愚策と言われかねぬ小池知事CM等巨額広告は、上田質問により都民が知ることとなり、2021年4月以降の新規契約「自粛」につながりました。

コロナ禍に乗じた小池都政広告費

2020年4月～2021年3月

	総額	テレビ・ラジオCM 電波料	ウェブ広告費	制作費 総費
	11億9,125万円	8億7,930万円	2億5,700万円	5,495万円
株博報堂	5億960万円	5億900万円		60万円
株電通	3億7,090万円	3億7,000万円		90万円
株I&S BBDO	1億1,800万円		8,000万円	3,800万円
株読売広告社	9,700万円		9,700万円	
株アドフロンテ	8,000万円		8,000万円	
株毎日映画社	790万円			790万円
株大手通信広告社	400万円			400万円
株キッズ	180万円			180万円
株ADK マーケティングソリューションズ	90万円	30万円		60万円
株文化工房	50万円			50万円
アークベル株	65万円			65万円

1博報堂がトップ!

小池知事の傍若無人 人事を指摘、 疲弊する都職員問題提起で組織風土改善へ

2020年7月福祉保健局長が、突如交通局長へ事実上の左遷、福祉保健局健康管理担当局長が急ぎよ退任となり、元政策企画局次長が就任するという「突貫工事」人事が発生。感染症の専門家（公衆衛生医師）であった幹部職も退職する異常事態が上田調査で世に知られることに。事態悪化を防ぐため現在も職員の士気低下、自殺、長期休暇を随時チェックしています。



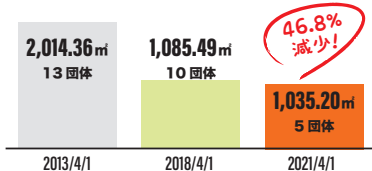
一般質疑応答の様子

知事側近は重用、実績あっても 気に入らなければクビという私物化人事に喝!

知事私設秘書→都知事特別秘書兼都民ファーストの会代表→現東京水道(株)(都の外郭団体)代表取締役・野田数氏は、水道行政の経験値ゼロでも血税が支出される報酬1,500万円で重用。一方、都環境公社理事長・澤章氏は、小池都政を赤裸々に描いた『築地と豊洲』を出版したとたんに退職に追い込まれました。都職員を疲弊させるご都合主義人事に、上田は唯一人、都議会で警鐘を鳴らしています。

東京都庁組合事務所さらに専有面積を約半減へ!

上田の真骨頂、東京の一等地西新宿都庁本庁舎における職員組合への、民間に貸せば毎月5,000万円相当の都民の都庁舎タダ貸し状況を定点観測。お陰様で令和2年度末は延床面積46.8%縮小となりました。今後も賃料支払いを求めます。



議員・都議会改革

都議会公用車利用回数 10分の1に激減へ!

令和元(2019)年度に議員公用車が使われた回数が、運用見直しを決める直前の平成28(2016)年度に比べて、1割以下の1,150回に激減。



新型コロナウイルス感染症に関する相談先

- 東京都発熱相談センター
(24時間/土日・祝日を含む毎日)

03-5320-4592

- 東京都新型コロナウイルス感染症支援情報ナビ



都議選日程が確定

●
東京都選挙管理委員会は任期満了に伴う都議選の日程を決定しました。

6/25 告示金

7/4 投票日

皆様の声をお寄せ下さい!



都議会-NEWS

2021
夏号

発行人／上田令子

〈東京都議会議員・江戸川区選出〉〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18

Tel & Fax: 03-3878-9032 Mail: uedareiko@gmail.com